

4月から12月にかけて行われる、町制50周年記念事業をお知らせします。
町主催の行事をはじめ、町民の皆さんが企画するものもたくさんあります。
ぜひ参加いただき、みんなで50周年を祝いましょう。

町制50周年記念事業一覧表（4月1日現在）

開催日	事業名（会場）	主催者
4月29日（祝）まで	滝山公園つつじまつり（滝山公園）	町観光協会
5月（予定）	日野町さつきまつり（山村開発センター）	同実行委員会
6月6日（土）	サロンコンサート「歌え金管五重奏」（町文化センター）	ホールと共に歩む会
6月6日（土）～9日（火）	日野町文化展（山村開発センター）	町文化団体連絡協議会
6月6日（土）～23日（火）	移動博物館「とっとりの身近な野鳥」（町公民館）	町公民館
6月14日（日）	チチバンドコンサート（町文化センター）	チチバンド
6月28日（日）	日野川音楽祭（町文化センター）	同実行委員会
7月下旬	鶴の池マラソン大会（鶴の池湖畔）	同実行委員会
7月下旬	第一人者招へい事業（町文化センター）	Do・スポーツ
8月15日（土）～17日（月）	昔なつかし写真展（町歴史民俗資料館）	資料館友の会
9月12日（土）	町制50周年記念コンサート（町文化センター）	同実行委員会、町
9月27日（日）	日野町民体育祭（根雨小学校、黒坂小学校）	日野町
10月17日（土）～25日（日） 予定	図書館まつり（町図書館）	町図書館
10月24日（土）	金持景藤公生誕700年祭記念講演会（町文化センター）	町観光協会
10月24日（土）・25日（日）	生きいき“ひの”ふれあいまつり（山村開発センターほか）	同実行委員会
10月	金持カップグラウンドゴルフ大会（日野中学校）	町観光協会
10月	もみじ開運ウォーキング（滝山公園～金持神社）	同実行委員会
10月下旬予定	日野町百景写真展（山村開発センターほか）	日野町
11月8日（日）	日野町制施行50周年記念式典（町文化センター）	日野町
11月22日（日）	日野町民ミュージカル公演（町文化センター）	同実行委員会
11月中旬（予定）	町公民館まつり（町公民館）	町公民館
11月下旬	日野・米子・倉吉の競演演劇ユニット「デルタ」公演（町文化センター）	演劇ユニット「デルタ」

みんなで祝おう
町制50周年記念事業を募集

町制50周年自主企画を募集

まちでは、皆さんが活動しているグループなどの中で行われる、町制50周年を記念する催しなどの自主企画を募集しています。

▼募集する企画 平成21年12月までの間に開かれる、住民が主体となつて行う催し。企画の例（行事名に町制50周年記念を表示）Ⅱ【町制50周年記念音楽祭】、【町制50周年記念作品展】など
応募いただいた企画は、「広報ひの」や防災無線などで広報する予定です。※催しの内容によってはお断りする場合があります。

▼申込み・問合せ 役場企画政策課

（電話72・0332）

「未来に伝えたい まちの風景」募集

まちでは、未来に伝えたいまちの自然・風景を撮影した写真「日野町百景」を募集します。
百景に選ばれた作品は、50周年記念行事で展示したり、データ化して永久保存します。

▼応募要領 ①町内で、おおむね5年以内に撮影された風景写真を提出してください（加工されていないもの）※作品は、後日すべて返却します
②サイズは、2L以上四切（A4）までのプリント（百景に選ばれた作品は、フィルムまたはデータを提出いただきます）

③作品の裏面に、住所・氏名・電話番号・撮影場所・撮影日を記入してください

▼締め切り 平成21年9月30日（水）

▼作品提出・問合せ 役場企画政策課

（電話72・0332）

あげ・こげ・じげじまん

第3回 別所地区に伝わるもの・こと

山あいには田園風景が広がる別所地区。映画のロケ地にも選ばれたのどかな地域です。地区の昔のお話などを、松本喜志子さんに聞きました。

松本さんは、今年で満97歳。記憶力は今でも抜群で、自身の生い立ちなど、優しい口調で詳しく話されました。

▼生まれも別所です

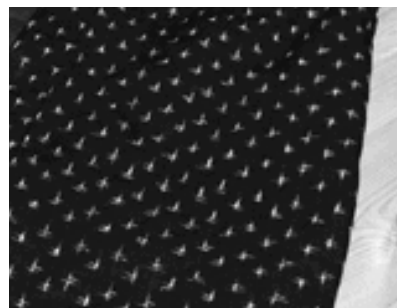
明治45年、6人きょうだいの4人目として別所に生まれました。父は、私が6歳の時に亡くなり、母一人で私たちを育ててくれました。

子どものころ、私は事情があつて江府町洲河崎の母の実家へ養女に行き、そこから根雨の女学校まで歩いて通っていました。女学校では主に裁縫や修身などを習いました。また、オルガンも習いましたので、後年オルガンを買った当時を思い出しながら弾いたりもしていましたね。



昔を懐かしみながら話す松本さん

▼昔の地域生活



松本さんの緋。細かい模様は高い技術が必要

女学校を卒業したあとは、別所の家に戻り、20歳で結婚しました。当時の婚礼は夜に行われ、提灯を提げて相手の家に行ったものです。その提灯は、今も残してありますよ。昔は牛を飼っていたりもしたので、皆よく働いていました。冬は、男性たちははら細工、私は機織り。機織りは娘にも教えたりしながら昭和30年代くらいまで続けていたでしょう。

また、私の姑はとても話すがうまく、佐治谷の昔話などを地区の人たちにも話して

いました。当時は娯楽がなかったもので、地区の子どもたちも喜んで、囲むようにして聞いていましたね。

▼地名の由来など

私が住んでいるのは、別所の中でも鉄穴^{かん}という地区。この近くに、たたら製鉄の「かな場」があるので、そこから付いたのでしょうか。昔は、近所の人たちと寄り合っているいろいろな行事をしたものでした。家の近くのお堂に「薬師さん」が祭られてあり、

20年くらい前までは、毎月12日の縁日に女性たちが赤飯やぼた餅を持ち寄ってお経を唱えたりしていましたね。

▼幸せな今の暮らし

私が生んだ子どもたちは皆女の子でした。昔は、男の子を産まないとい喜ばれない時代。辛い思いもしましたが、娘に男の子が生まれ、この子が家を継ぐと決まった時は本当にうれしかったです。この孫が私にとって一番大切な存在です。

～別所あれこれ～

城跡に建てられた堀神社

集落の入口にある堀神社の境内は、戦国時代の堀城の跡だと伝えられています。三方が絶壁に囲まれる地形は自然の要害となり、高見之庄とも呼ばれ、山陰・山陽の連絡の要所でもありました。

「八つ墓村」ロケで大にぎわい

流行語になった「たたりじゃ～」で有名な松竹映画「八つ墓村」のロケが、昭和52年、別所など奥渡地区で行われました。



見物客は一日なんと5000人

大掛かりなセットや、主演の渥美清さん、萩原健一さんらを見ようと、見物客のツアーバスが十数台、地元の婦人会もバザーを行うなど、一帯は大にぎわいでした。

町図書館では、「じげじまん」語り手を募集しています… 昔の行事や地域のしきたり、昔話や田植え唄、わらべ唄などを語っていただける人があれば伺います。記録は録音して保存します。詳しくは町図書館（電話 72 - 1300）までお問合せください。